

特定テーマに関するオーラル・ヒストリーは、在日米軍基地問題等に関する歴史的事象について、オーラル・ヒストリーの手法による要人の口述記録を作成し、安全保障政策史の調査研究に資するものである。

(3) 国外散逸史料の収集

17年度のロシアからの史料収集に引き続き、本年度も国外に散逸した歴史史料の収集に努め、現在オーストラリア国立戦争記念館からの入手を行っている。また、19年度からの本格的な収集のための予算が認められ、中期計画を策定するとともに、事業の進捗を図っている。

5 戦史資料の閲覧

防衛研究所は、旧陸海軍関係の公文書、非公文書及び戦史関係の出版物並びにそれらの複製物（以下、「史資料」という）を、平日9時から16時30分まで、図書館史料閲覧室において一般に公開している。

調査研究のため閲覧を希望する者は、所定の手続きをとって誰でも閲覧することができる。

平成18年の閲覧者総数は、3,439名であった。

月別閲覧者数は、下表の通りである。

月	1	2	3	4
閲覧者数	231	286	309	234
月	5	6	7	8
閲覧者数	259	312	321	359
月	9	10	11	12
閲覧者数	324	264	284	256

6 レファレンス

防衛研究所は、主に図書館史料閲覧室を窓口として、史資料の検索、特定史資料の内容に関する情報提供、史資料に関する参考文献及び専門的調査機関等に対する情報提供を行